

分野	専門分野	科目名	看護概論		
時間	35時間	開講時期	1年次（前期）		
講師名	専任教員				
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職能団体による看護の定義を理解する。 2. 法律に示された看護の機能と業務内容を理解する。 3. 看護の対象を生活者としての存在として理解する。 4. 人間の基本的欲求と環境への適応について理解する。 5. 病気に関連した患者の行動や対処行動の特徴を理解する。 6. 日本国憲法およびWHO憲章にみる健康の定義を理解する。 7. 各健康レベルにおけるニーズと看護について理解する。 8. 看護活動の概要を理解する。 9. 地域での看護活動の必要性と方法を理解する。 10. 病院や看護部などの組織体系、看護体制・看護方式、各レベルにおける看護管理について理解する。 11. 医療安全に関する基礎知識について理解する。 12. 事故発生のメカニズムとその対策について学習する。 13. 看護という職業の本質について理解する。 14. 看護職の役割と看護業務について学習する。 15. 保健医療福祉のしくみについて学ぶ。 16. 社会のなかで看護がどのように起こり、職業として発展してきたかを理解する。 				
講義形態	①講義・演習				
講義内容					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とは 2. 看護のとらえ方の変遷 3. 看護理論家がとらえた看護の本質 4. 職能団体が定義する看護 5. 看護師・准看護師の役割 6. 生活者としての存在 7. 成長・発達する存在 8. 統合体としての存在 9. 患者と看護師の関係 10. 病気に関連した患者の行動 11. ライフサイクルからみる患者の心理 12. 治療を受ける患者の心理 13. 療養の場からみた患者の心 14. 健康という考え方 15. 健康の定義 16. 健康のレベルとニーズ 17. 病院における看護活動 18. 地域・在宅における看護活動 19. 国際看護活動 20. 看護提供システム </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 21. 看護体制と看護方式 22. 医療安全を学ぶ意味 23. 医療安全の動向 24. 医療安全に関する基礎知識 25. 事故発生のメカニズムとその対策 26. 医療安全における感染対策 27. 職業と看護職 28. 看護職の役割と看護業務 29. 専門職としての看護師 30. 保健医療福祉のしくみ 31. 保健医療福祉施設の種類と役割 32. 地域における多職種連携 33. 保健医療福祉対策 34. 看護史を学ぶ意味 35. 古代文明の発祥と医療・看護の形成 36. 中世から近代にかけての看護のあゆみ 37. 日本における看護の変遷 38. 現在の看護と課題 </td> </tr> </table>				<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とは 2. 看護のとらえ方の変遷 3. 看護理論家がとらえた看護の本質 4. 職能団体が定義する看護 5. 看護師・准看護師の役割 6. 生活者としての存在 7. 成長・発達する存在 8. 統合体としての存在 9. 患者と看護師の関係 10. 病気に関連した患者の行動 11. ライフサイクルからみる患者の心理 12. 治療を受ける患者の心理 13. 療養の場からみた患者の心 14. 健康という考え方 15. 健康の定義 16. 健康のレベルとニーズ 17. 病院における看護活動 18. 地域・在宅における看護活動 19. 国際看護活動 20. 看護提供システム 	<ol style="list-style-type: none"> 21. 看護体制と看護方式 22. 医療安全を学ぶ意味 23. 医療安全の動向 24. 医療安全に関する基礎知識 25. 事故発生のメカニズムとその対策 26. 医療安全における感染対策 27. 職業と看護職 28. 看護職の役割と看護業務 29. 専門職としての看護師 30. 保健医療福祉のしくみ 31. 保健医療福祉施設の種類と役割 32. 地域における多職種連携 33. 保健医療福祉対策 34. 看護史を学ぶ意味 35. 古代文明の発祥と医療・看護の形成 36. 中世から近代にかけての看護のあゆみ 37. 日本における看護の変遷 38. 現在の看護と課題
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とは 2. 看護のとらえ方の変遷 3. 看護理論家がとらえた看護の本質 4. 職能団体が定義する看護 5. 看護師・准看護師の役割 6. 生活者としての存在 7. 成長・発達する存在 8. 統合体としての存在 9. 患者と看護師の関係 10. 病気に関連した患者の行動 11. ライフサイクルからみる患者の心理 12. 治療を受ける患者の心理 13. 療養の場からみた患者の心 14. 健康という考え方 15. 健康の定義 16. 健康のレベルとニーズ 17. 病院における看護活動 18. 地域・在宅における看護活動 19. 国際看護活動 20. 看護提供システム 	<ol style="list-style-type: none"> 21. 看護体制と看護方式 22. 医療安全を学ぶ意味 23. 医療安全の動向 24. 医療安全に関する基礎知識 25. 事故発生のメカニズムとその対策 26. 医療安全における感染対策 27. 職業と看護職 28. 看護職の役割と看護業務 29. 専門職としての看護師 30. 保健医療福祉のしくみ 31. 保健医療福祉施設の種類と役割 32. 地域における多職種連携 33. 保健医療福祉対策 34. 看護史を学ぶ意味 35. 古代文明の発祥と医療・看護の形成 36. 中世から近代にかけての看護のあゆみ 37. 日本における看護の変遷 38. 現在の看護と課題 				
【テキスト／参考文献】					
看護学入門 5 基礎看護 I：看護概論（メヂカルフレンド社）					
【評価】					
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする					